

りんごだより

草笛学園 2025年 (7月号)



梅雨に入つてじめじめした日が続いていますが、今日から7月に入りましたね！雨が嫌な人もいるとは思いますが、雨の日は傘をさしたり、長靴を履いたり、子どもたちにとっていつもと違う雰囲気を感じられます。また、傘に当たる雨粒の音や長靴で入る水溜りも子どもたちにとってはアスレチックになります！色々な感覚を五感で感じ雨の日も楽しく過ごしてくださいね！



意欲を育てるお手伝い

「食事のしたくをしようとするよってくる」「新聞を見ていると、ひざに乗りにくく」など、1歳を過ぎたころから、子どもはおとなのことに対する興味を持ち始めます。一見邪魔をしているように思えて、やっかいな時期です。特に忙しい時等イライラの原因となります。この頃の子どもへのかかわりのキーワードは『こんな小さな時期からお手伝いができるの？』と思われるかもしれません、工夫すれば子どもにもできることがたくさんあります。たとえば、「お米をとぐ」こともそのひとつです。大人と同じようにはできませんが、お米をかきませる、カップで水を入れるなどは喜んでいます。この頃のお手伝いの難点は、往々にして失敗するので後始末が大変なことです。大人には気持ちと時間の余裕が必要です。失敗をするとわかっていることを子どもにさせることに、どんな意味があるのでしょうか。この時期の子どもは「憧れの大人と同じことがしたい」という気持ちでいっぱいです。模倣をしながらたくさんの経験を積みます。失敗をしながら大人に助けられて同じようにできた時に、「ヤッター」という気分に浸れます。そしていちばん大切な「もっとしたい！」という意欲が育ちます。経験が長い人生を意欲的に生きていく土台作りになるといつても過言ではありません。子どもから「やりたい」と言ってくれているのです。このチャンスを逃す手はありません。忙しいときや、毎日でなくていいのです。お休みの日に家でゆっくりしながら、子どもに手伝ってもらう機会をつくりましょう。洗濯物をたたんだり、おそうじだって工夫しだいでは子どもにできることもあります。おうちの事情に合わ

せて考えてみましょう。少しでも手伝ってくれた時は「ありがとう」は忘れずに。まちがっても、失敗した時に怒らないでくださいね。子どもは失敗しながら成長するものですから。面倒だなと思う時は、「手伝いは意欲を育てる。発達のチャンスを奪わない」と、呪文を唱えて、子どもの気持ちに寄り添ってみましょう。きっと子供の素敵な笑顔に出会えるでしょう。

今日から始める安心子育て 笑顔で向き合って 池添素 著 かもがわ出版

次回のりんご教室は…

りんご教室①… 8月5日（火）9:20～11:15

→『みずあそび』を行います

◎持つて来るもの：帽子・水着・水筒・シューズ・必要に応じて着替え・タオル

※保護者の方もぬれる可能性があるので必要に応じて着替えを持参してください

りんご教室②… 8月19日（火）9:20～11:15

→『ダンボールすべり台』を行います。

◎持つてくるもの：水筒・シューズ・必要に応じて着替え

※保護者の方も動きやすい服装をお願いします

参加される皆様へ』～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費はありません。制作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください